

ひとりのために みんなのために

あきの福岡県ニュース

2022
vol.3

発行：あきの公造後援会 北九州市戸畑区初音町6-7 中西ビル201

剣道特集



剣道具を文化財に

防具を国会に持ち込み質疑

2021年3月22日、参議院財政金融委員会で質問に立った**あきの公造**（参議院議員・剣道4段）は、剣道具を国会に持ち込んで、剣道を防具も含め文化財とするよう求める質疑を行った。（以下趣旨）



↑質疑の様様は
こちらから
(8分50秒)



◆剣道を日本の文化として未来に継承

あきの

「剣道を含む武道は日本固有の文化であり、この文化を未来にわたって確実に継承するために、剣道も、武道も、さらには剣道の防具や道具を製作する技術についても、文化財として保護を図っていくことが大切。ぜひ検討の着手を」

文化庁

「剣道、武道、及びその道具を製作する技術を文化財として扱うための研究を検討し、順次着手します」

※文化財や文化庁の選定保存技術になれば、剣道具製作の後継者育成や材料の確保に国の財政支援が受けられるようになります。

◆「少年剣道教室」の再開を

あきの

「新型コロナの感染拡大防止の観点から、警察署の道場を開放した少年剣道教室を一時的に中止しているところもある。緊急事態宣言も解除をされた機会に、剣道教室が再開されるように警察庁に後押しを是非お願いをしたい」

警察庁

「少年剣道教室は少年の健全育成を図る観点から重要な活動だと認識しており、都道府県警察からの相談に応じたり、感染防止対策事例を紹介するなど、活動再開の支援を行ってまいります」

2大剣道雑誌に 掲載!

これらの国会質疑が、剣道界に大きな反響を呼び、2大剣道雑誌の月刊「剣道日本」2021年6月号、「剣道時代」2021年7月号・9月号に、大きく紹介された。

【プロフィール】

医師・医学博士。元厚生労働省医系技官。元東京空港検疫所支所長。剣道教士七段の弘友和夫参議院議員の後継者として2010年に参議院に初当選。45歳から本格的に剣道を開始

